

●京の七夕への笹竹提供始まる 昨年に続き今年も「京の七夕」の笹竹の注文が届きまして、2 日には淀本町商店街振興組合に 26 本の竹を届けること、そして寺町京極商店街振興組合に 3 日との連絡が来ました。天気予報はこの 2 日間とも雨天でした。2 日にはかなり大きな竹 26 本の切り出しになりますので、深田さんと山村が合羽を着て午前 8 時から切り出しました。梅雨本番のこのごろは雑草が大きく茂り竹藪に押し入る通路が塞がれ、難儀します。雨が予報通り降りしきる中での仕事になり、30 分もすると汗びっしょり、上着もズボンも大変でした。軽トラの冷房で上がった体温を冷やし・冷やし、しながらの作業を続けました。長さを調整し、5 本ずつ一束にまとめ、持ち運びができるよう工夫し、縛りあげます。全部を出来上がったのは 11 時になっていました。作業で出た不要物の後片付けにも相当の時間がかかりました。運搬が出来るように完成したのは正午になりました。予定では淀商店街には 10 時までに持ち込む約束になっています。この日は受取人さんのご都合があって、明日の 3 日に順延との電話でしたので、好都合となりました。予想以上の大仕事でした。

翌日は草内の倉庫前 8 時に集合で、150 本の寺町京極商店街振興組合さんからの注文なので、多くの方々に協力をお願いしました。ここは長さをできる限り均一する条件なので相当時間が必要で、かなり手間がかかりました。4 人が全力を尽くして完成したのが 10 時前でした。寺町の自動車の通行制限が 10 時になっているので、納品はそれまでに終了となります。しかし出発が 10 時近くになりました。小運搬になるのではないかと覚悟をしての出発となりました。現地近くに到着するとすでに 4~6 人の皆さんが出迎えてくださっていました。手伝っていただき、事なきを得た切り出しと小運搬でした。

●京都府交響プロジェクト交付金 重点課題対応プログラムに申請書を届けました。事業総額は 3,026,500 円で 6 項目の事業数になっています。①8 月 18 日は京都府子どもの水辺を開催予定にしております。昨年同様カヌー体験と魚とり、そして生き物調べや活動発表と楽しい取り組みになっています。②親子で遊ぼう学ぼう魚とり③また中聖牛の設置は 11 月 23・24 日に計画しています。④特に 9 月 15 日から予定している竹蛇籠製作講習会は 10 回を計画し土・日の 9 時 30 分から 12 時まで時間帯です。⑤年間を通じての里山農園付近の生き物調査⑥その他地域説明会として、「木津川はどんな川」と山城の歴史及び里山の会の最も得意な木津川の花の展示を加えて実施します。こぞってご参加ください。今年から重点課題プログラムの子育て部門に応募しました。全取組を通じて幼保児童にも門戸を開き福祉部門に関連する良い機会になります。それぞれの楽しいイベントを通じて交流や地域課題の解決に力を併せたいと思っています。合格した折にはぜひともよろしくお願いします。

●これまで親子で遊ぼう学ぼう魚とり 7 回のうち既に 3 回は終了しています。残り 4 回は 21 日が京田辺市域で八幡市を含む旧綴喜郡全域になります。集合は午前 9 時 30 分にやましろ大橋西詰橋下のグランド駐車場となっています。小学生以下は保護者同伴が必須です。かなり殺到した応募数が予想されます、先着順と世話係最優先受付となっているので、早く対処ください。この日は旧綴喜郡域(八幡市、宇治田原町、井手町、京田辺市域)が応募域となっています。次回の 28 日宇治市域。8 月 3 日は城陽市域。8 月 4 日は木津川市域(旧相楽郡全域)で、それぞれ 50 人組の受付で、先着制と世話役を引き受けていただける方最優先になります。毎年人気の定番活動ですので、お早目の応募がいいと思います。

●親子で遊ぼう学ぼう魚とり 案内チラシ印刷を発注を1日に済ます 出来るだけ多くの皆さんにお知らせするために、35000枚の案内チラシ印刷を注文しました、刷り上がりが9日で、各小学校児童数に配分する準備を進めております。これまでは印刷会社に直接注文原稿を持参してきましたが、今年は太田敏之さんの技術力が発揮されて、インターネットでの原稿送付によって注文が出来ました。随分と時間のロスが軽減されました。こうしたなかで魚とりもQRコードを使って応募が可能になりました。大いにご活用ください。お待ちしております。もちろん往復はがきによる申し込みも可能です。

●オオムラサキの一週間連続観察始まる 30日～6日まで 予想していなかったクワガタが大集合となる

これまでオオムラサキ観察会を20数回開催してきましたが、成虫が確認できたのはほんの数回です。冬の観察会ではオオムラサキの幼虫を随分と確認してきました。また産卵する場面に目の前で確認する貴重なシーンに出会うこともできました。エノキの葉っぱにくっついていところも数回確認できています。しかしここ数年夏の観察会で成虫を確認できませんでした。それは樹液を出す樹木がすっかり減少したたからだと思われます。今年の台風で森の大木が随分と倒壊し、樹液を出す樹木の数が少なくなってしまったからではないでしょうか。オオムラサキの生育環境に大変化が起きているようです。この傾向に気づいて、トラップを随分と強化をすすめ、なんとしても姿を確認したいものと工夫を重ねてきました。これまではバナナやパイナップルを中心にした内容から改善を重ねました。世話係の金田さんが工夫をしてくださっています。6月30日から7月6日までの一週間を調査観察連続として記録観察を行っています。この4日間でノコギリクワガタ22匹が確認されました。これらの工夫の結果、トラップの威力と匂いは広範囲に影響が及んでいる結果ではないかと思われます。しかし確認を狙っているオオムラサキの姿は今のところ全く見ることが出来ていません。今年の冬には1匹の幼虫の確認に終わっています。以前には累計60匹近くが確認されていました。前半の調査からみるとオオムラサキの生育には非常に陰しい条件になっているのではないかと思います。残る3日日間の調査期間を有効にした観察を頑張りたいと思います。

● 木津川のココがおもしろい ～自然と生き物の世界～ (京都を学ぶセミナー)南山城第3回

京都府立京都学・歴史館 竹門康弘先生(竹蛇籠や中聖牛の設置でたいへんお世話になってます)

木津川の自然環境と水質・土地利用の関係を解説します。そして、環境に適応した多様な生き物たちの諸相を明らかにしていきます。

私たちは木津川に触れて多くの取組を行ってきました。それぞれ部分や分野等での取り組みは深められてきました。しかし全体を通じて総合的に学習する機会にはあまり恵まれてきませんでした。視野を広げる良い機会が設けられました。学生時代から京都の川を基本としつつ、日本全国の多くの川にかかわってこれら研究成果を山城地域の中心に位置する木津川に関して教えていただけるまたとない機会ではないかと思います。私たちの活動に素晴らしいヒントを発見できるのではないのでしょうか。多くの皆さんのご参加をお願いします。